

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

集中治療室入室時に両側性陰影をきたした急性呼吸不全患者に対する  $SpO_2/FiO_2$  比の有用性の後方視的検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2010年10月～2015年9月までの間に、昭和大学病院単施設のICU、CCU、救命救急センター（総称として以下「集中治療室」とする）に入院した患者のうち、主治医（主科）が呼吸器・アレルギー内科であった方。またその中で、①入室時に病名に限らず、胸部単純X線あるいはCTで両側に陰影を認める、②人工呼吸器管理（気管内挿管）を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

急性肺傷害（Acute Lung Injury:ALI）や急性呼吸急迫症候群（Acute Respiratory Distress Syndrome:ARDS）では動脈血中酸素分圧（ $PaO_2$ ）と吸入酸素濃度（ $FiO_2$ ）の比（ $PaO_2/FiO_2$ 比）が、疾患の重症度あるいは予後の予測因子になるとされています。また近年この $PaO_2/FiO_2$ 比に替わるものとして、経皮的酸素飽和度（ $SpO_2$ ）と $FiO_2$ の比（ $SpO_2/FiO_2$ 比）の有用性が報告されてきています。本研究では、ALIやARDSに限らず、画像検査で両側性の陰影をきたし、かつ人工呼吸器管理を受けた急性呼吸不全の患者における $SpO_2/FiO_2$ 比の有用性を、診療録をもとに後方視的に検討します。

### 研究期間

医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2019年12月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重、血液検査結果、入院時（あるいは集中治療室入室時）の胸部単純X線あるいはCT検査の画像結果、使用した薬剤（全身性ステロイド、シベレスタット、 $\gamma$ -グロブリン製剤、昇圧剤、鎮静薬、鎮痛薬）、入院日、入院期間、集中治療室在室期間、既往歴、喫煙歴、集中治療室入室時のバイタルサイン（体温、脈拍数、呼吸数、血圧）。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

氏名：福田 陽佑（研究責任者）

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532